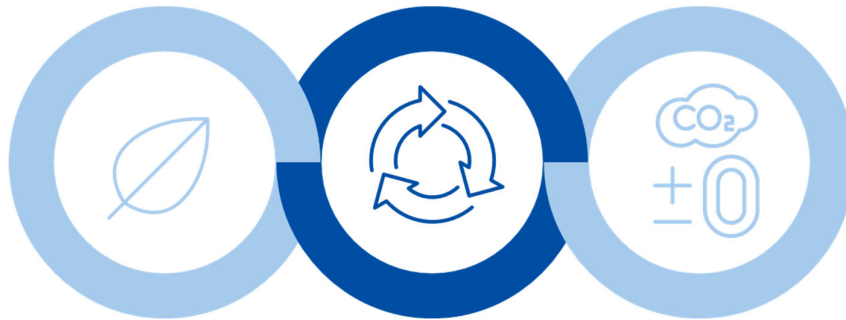


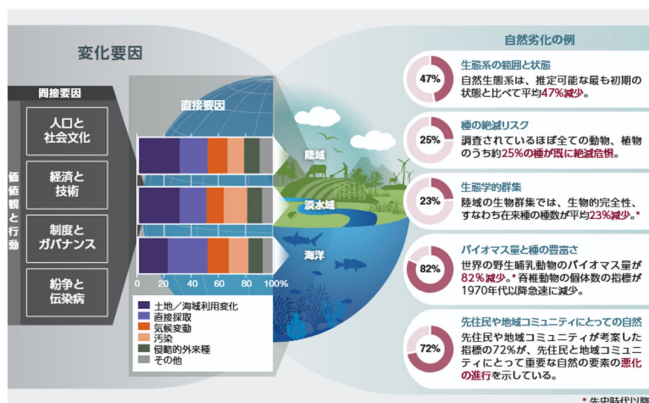
ディスカッション

(2050年) 社会の炭素中立化と自然再興の同時実現は可能か？



社会の炭素中立化と自然再興の同時実現は可能か？

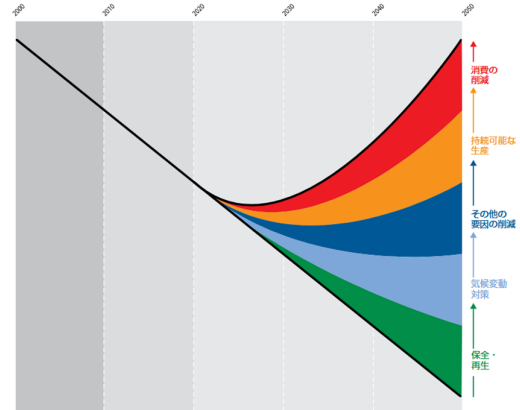
生物多様性喪失の直接・間接要因



IPBES評価

- 土地利用、採取、気候変動、汚染、外来種が主要な直接要因として特定
- これらを解決するためには社会の大きな変化が必要とされるという結論

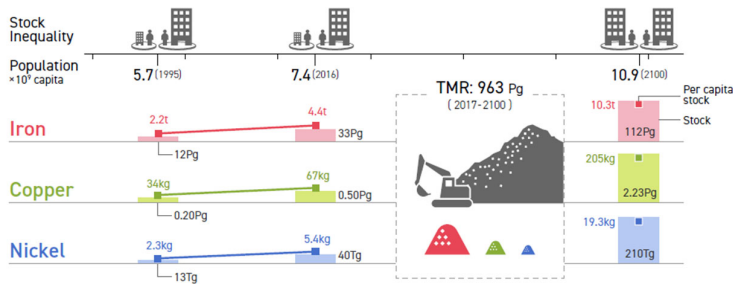
ネイチャーポジティブを目指す動き



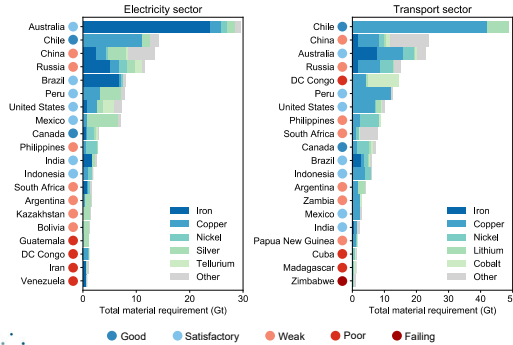
地球規模生物多様性概況第5版(GB05)

- 生物多様性の損失をとめ回復軌道に乗せる(ネイチャーポジティブ)という目標の提示
- 実現には、気候変動や持続可能性に関する課題の解決も同時に必要になる

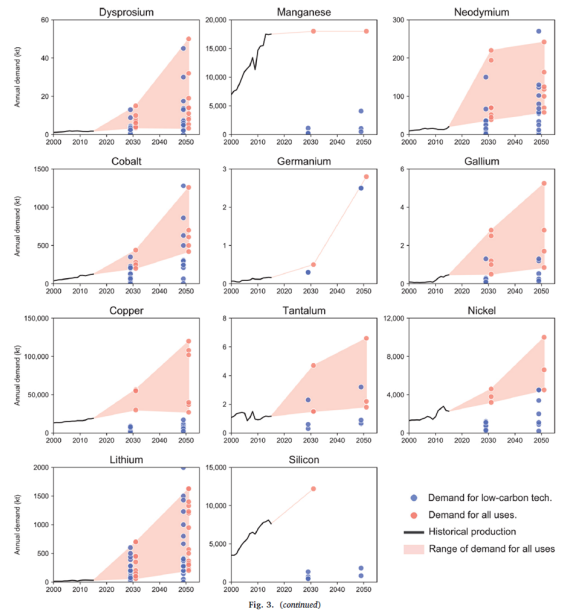
社会の炭素中立化と自然再興の同時実現は可能か？



金属(Fe, Cu, Ni)の利用に伴う2100年までの関与物質総量



発電・モビリティ部門における
2050年までの関与物質総量(累積)
(Watari et al. 2020)



世界規模での金属の将来需要推計値の例(Watari et al. 2020)

T. Watari et al. (2021) *Journal of Cleaner Production*, 312, 127698, Watari T. et al. 2020, *Resources, Conservation and Recycling*, 155, 104669

23

17th Biennial International Conference on EcoBalance EcoBalance 2026

Save the date!

November 10-13, 2026

NAGOYA, Japan

Aichi Industry & Labor Center (WINC AICHI)

AICHI Pref. WINC AICHI, NAGOYA

TOYOTA City

Chubu Centrair

SENDAI EcoBalance 2024

KYOTO

FUKUOKA

TOKYO

Narita

Kansai



ご清聴ありがとうございました。
nakajima.kenichi@nies.go.jp

24